



平成 28 年度（2016 年度）事業報告書

（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

一般社団法人日本うつ病センター

1. はじめに

① 設立経緯と事業形態の変更について

うつ病患者の多くが内科等一般診療科に受診しているとの欧米の研究報告を踏まえ、1976 年に国際神経精神薬理学会 (CINP)、世界保健機関 (WHO)、世界精神医学会 (WPA) 等で活躍している精神科医 14 名による一般診療科医啓発の国際組織「うつ病の予防と治療に関する国際委員会」(ICPTD、International Committee for Prevention and Treatment of Depression) が設立され、啓発資材の提供、教育講演、ニュースレターの発行等を開始した。

1978 年（昭和 53 年）、同様の活動を日本でも行うべく ICPTD 委員として参加していた高橋良（当時、長崎大学精神科教授）を委員長として大熊輝雄、伊藤斉、石川中、笠原嘉、風祭元、新福尚武、筒井末春、中川哲也、宮本忠雄、山下格の 11 名による「うつ病の予防と治療に関する日本委員会」(JCPTD、Japan Committee for Prevention and Treatment for Depression) が任意団体として設立された。以後、委員長が 1988 年大熊輝雄、1999 年中根允文に交代し、30 余年に亘りうつ病啓発活動を行っている。2010 年、啓発活動の拡大・強化のため組織基盤の強化を目指して「一般社団法人うつ病の予防・治療日本委員会 (JCPTD)」(理事長 中根允文) として法人化した。主たる啓発対象を一般市民、就業者、学生に 3 分類した国民とし、各対象別に啓発企画委員会を置き、行政機関、各種団体と連携し、うつ病の一次から三次予防の啓発活動を行ってきた。

2015 年 1 月より法人名を一般社団法人日本うつ病センター (JDC) と名称変更した。啓発活動のさらなる拡大・強化の為に寄付に全面的に依存する事業形態から啓発活動の自主財源を獲得することを目的として、かつまた、近年日本うつ病センター (JDC) による直接的で良質な医療支援の要望が多く寄せられたことから、高度且つ包括的でより良い医療支援を行うべくメンタルクリニック、産業メンタルヘルスセンター、精神療法センターを東京都千代田区で開設した。

平成 28 年第 7 期より代表理事（理事長）中根允文が退任し、樋口輝彦が代表理事（理事長）に就任した。

2. 啓発（公益）事業

① 「うつ病を知る日」市民講座：2地区

事業目的：うつ病への認識を高め、国内の一般市民がうつ病に罹患しないように、また偏見や差別を抱かないように啓発していくこと

開催地：岡山県岡山市（10月3日）、北海道札幌市（10月10日）

開催報告：岡山では認知行動療法及び自閉症スペクトラム障害とうつ病の関係について、札幌では睡眠障害とうつ病の関係について、講演が行われた。

各地区とも約200名程度の参加人数であり、関心の高さが感じられた。

② ワンストップ支援のための情報プラットフォームづくり

事業目的：各領域の共同作業により、その領域のハイリスク者支援のアプローチ、多重的な問題をかかえたハイリスク者の支援における連携方法や、その領域でよく使われる「ことば」を共有し、各領域の連携による支援を進めるための手引きを開発することを目的とする。

事業内容：

ハイリスク者支援のための連携支援手引き作成チーム合宿

開催日時：平成28年12月5日～6日

開催場所：ホテルKSP（川崎市高津区坂戸3-2-1）

参加人員：50名

手引き作成

手引き作成チームにより、チーム合宿の成果を踏まえ作業中

3月中旬に作成完了し、配布および4月上旬に日本うつ病センターホームページに掲載

3. 収益事業

① 六番町メンタルクリニック及び精神療法センター

概況：開院以降患者数は着実に増加しており、初期投資の負担及び家賃等の固定費の負担は大きいですが、少額ではあるが黒字化を達成した。

② 産業メンタルヘルスセンター

概況：労働安全衛生法改定等の影響があり、社員のメンタルヘルス向上に関心を示す企業からの問い合わせが増加しており、日本うつ病センターの基本的な考え方であるより良い産業保健・医療を提供するという考え方に賛同頂ける数社との協業を開始し、収益事業全体の黒字化に貢献した。

③ 収益事業全体としては売上高 6980 万円で、販売費及び一般管理は 5644 万円、営業損益は 1326 万円となっている。

4. 役員状況

| | |
|---------------------|----------|
| 理事（定数 3 名以上 15 名以内） | 期末現在 9 名 |
| 監事（定数 1 名以上） | 期末現在 2 名 |

5. 会員状況

| | |
|------|-----------|
| 正会員数 | 期末現在 42 名 |
|------|-----------|

6. 会議等の開催

| | | |
|--------|------------------|--------------|
| 定時社員総会 | 平成 27 年 3 月 21 日 | 六番町メンタルクリニック |
| 定例理事会 | 平成 27 年 3 月 21 日 | 六番町メンタルクリニック |

一般社団法人日本うつ病センター

貸借対照表

(平成28年12月31日現在)

(単位:円)

| | | | |
|-----------------|-------------------|--------------|--------------------|
| <u>資産の部</u> | | <u>負債の部</u> | |
| <u>流動資産</u> | | <u>流動負債</u> | |
| 現金及び預金 | 26,024,422 | 買掛金 | 19,615 |
| 売掛金 | 6,840,910 | 未払金 | 4,229,939 |
| 商品 | 25,693 | 未払法人税等 | 70,000 |
| 立替金 | 26,784 | 未払消費税等 | 2,379,100 |
| 未収入金 | 13,400 | 未払費用 | 2,918,668 |
| 流動資産計 | <u>32,931,209</u> | 預り金 | 444,720 |
| | | 流動負債計 | <u>10,062,042</u> |
| <u>固定資産</u> | | <u>固定負債</u> | |
| 有形固定資産 | | 長期借入金 | 53,020,337 |
| 建物 | 10,189,981 | 長期未払金 | 5,153,044 |
| 工具器具備品 | 2,609,904 | 固定負債計 | <u>58,173,381</u> |
| 有形固定資産計 | <u>12,799,885</u> | 負債合計 | <u>68,235,423</u> |
| <u>投資その他の資産</u> | | <u>純資産の部</u> | |
| 出資金 | 10,000 | <u>純資産</u> | |
| 敷金・保証金 | 5,550,000 | 利益剰余金 | |
| 長期前払費用 | 1,691,062 | その他利益剰余金 | |
| 投資その他の資産計 | <u>7,251,062</u> | 繰越利益剰余金 | △28,826,171 |
| 固定資産計 | <u>20,050,947</u> | 当期純損益金額 | 13,572,904 |
| | | 利益剰余金 合計 | <u>△15,253,267</u> |
| 資産合計 | <u>52,982,156</u> | 純資産合計 | <u>△15,253,267</u> |
| | | 負債・純資産合計 | <u>52,982,156</u> |

一般社団法人日本うつ病センター

損益計算書

自 平成28年 1月 1日
至 平成28年12月31日

(単位:円)

| | | |
|--------------|----------------|--------------------------|
| 売上高 | | 79,968,191 |
| 当期商品仕入高 | | 275,491 |
| 期末商品棚卸高 | | 23,635 |
| 売上原価 | | <u>251,856</u> |
| 売上総利益 | | 79,716,335 |
| 販売費及び一般管理費 | | <u>63,356,984</u> |
| 営業利益 | | 16,359,351 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,073 | |
| 受取配当金 | 300 | |
| その他の営業外収益 | <u>2,993</u> | 4,366 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,010,230 | |
| その他の営業外費用 | <u>708,468</u> | <u>2,718,698</u> |
| 経常利益 | | 13,645,019 |
| 税引前当期純利益 | | 13,645,019 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 72,115 |
| 当期純利益 | | <u><u>13,572,904</u></u> |

一般社団法人日本うつ病センター

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：千円)

| 区 分 | 期首帳簿価額 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期償却額 | 期末帳簿価額 | 減価償却累計額 | 期末取得原価 |
|--------|----------|-------|-------|-------|--------|---------|--------|
| 有形固定資産 | | | | | | | |
| 建物 | ¥ 14,259 | - | - | 4,069 | 10,190 | 7,245 | 17,435 |
| 工具器具備品 | ¥ 3,877 | - | - | 1,267 | 2,610 | 2,355 | 4,965 |
| 合 計 | ¥ 18,136 | - | - | 5,336 | 12,800 | 9,600 | 22,400 |

財 産 目 録

2016年 12月 31日

一般社団法人日本うつ病センター

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | | |
|-------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金・預金 | 26,024,422 | | |
| 売掛金 | 6,840,910 | | |
| 棚卸資産 | 25,693 | | |
| 前渡金 | 0 | | |
| 未収入金 | 13,400 | | |
| 立替金 | 31,293 | | |
| その他流動資産 | 0 | | |
| 流動資産 合計 | | <u>32,935,718</u> | |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 特定資産 | | | |
| 建物 | 10,189,981 | | |
| 工具器具備品 | 2,609,904 | | |
| 敷金 | 5,550,000 | | |
| 特定資産 合計 | <u>18,349,885</u> | | |
| (2) その他固定資産 | | | |
| 出資金 | 10,000 | | |
| 長期前払費用 | 1,691,062 | | |
| その他固定資産 合計 | <u>1,701,062</u> | | |
| 固定資産 合計 | | <u>20,050,947</u> | |
| 資 産 合 計 | | | <u>52,986,665</u> |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 買掛金 | 19,615 | | |
| 短期借入金 | 0 | | |
| 未払金 | 4,148,939 | | |
| 未払法人税等 | 70,000 | | |
| 未払消費税等 | 2,383,300 | | |
| 未払費用 | 2,918,668 | | |
| 前受収益 | 0 | | |
| 預り金 | 444,720 | | |
| 流動負債 合計 | | <u>9,985,242</u> | |
| 2. 固定負債 | | | |
| 長期借入金 | 53,020,337 | | |
| 長期未払金 | 5,153,044 | | |
| 固定負債 合計 | | <u>58,173,381</u> | |
| 負 債 合 計 | | | <u>68,158,623</u> |
| 正 味 財 産 | | | <u>-15,171,958</u> |

監査報告書

2017年2月25日

一般社団法人日本うつ病センター

監事 大坪 天平

監事 渡邊 衝一郎

2016年1月1日から2016年12月31日までの事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で調査を行い、その結果を監事間で協議して監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するための必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上



平成29年度（2017年度）事業報告書

（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）

一般社団法人日本うつ病センター

活動の指針

平成29年度においても、定款に記載した法人設立目的である「うつ病及びその関連疾患（以下、「うつ病等」という）の予防、診断、治療のクオリティを高めるための対策、研究、又うつ病等に関わるものと連携して、普及啓発、医療の向上を図り、もって国民の福祉と健康増進を目的とする」を達成するために、啓発・研究事業に力点をおいた活動を行った。

啓発・研究事業においては産業医と精神科医の継続的な関係が可能となるシステムの開発を目指して、産業医と精神科医の役割分担がより一層明確になるような調査研究事業に着手した。インターネットサイトシステムをレスポンス対応に改修し、更に、継続的に行っている「うつをこえて」の一般市民啓発活動や自殺防止対策事業などについてはより一層の拡大を行った。今年度より、新に東京都地域自殺対策強化事業の採択を受け、若年勤労者の自殺対策についても啓蒙活動を行った。

収益事業については、実際の医療を提供する六番町メンタルクリニックについては可能なかぎりじっくり患者様の声に耳を傾け診療することを継続し、産業メンタルヘルスセンターにおいても六番町メンタルクリニック、JDC 精神療法センターと連携し、精神科医による統合支援体制を継続した。

1. 啓発事業

- ① 「うつ病を知る日」市民講座：2地区
開催地：岡山県岡山市（10月7日：200名）、北海道札幌市（10月7日：150名）
- ② ワンストップ支援のための情報プラットフォームづくり（厚労省委託事業）
開催地：10地区（参加者数700名）、全体連絡会議1回
- ③ 若年勤労者の自殺対策（東京都地域自殺対策強化事業）
開催：1回 東京都（参加者数70名）

2. 収益事業

- ① 六番町メンタルクリニック及び精神療法センター
概況：開院以降患者数は着実に増加しており、初期投資の負担及び家賃等の固定費の負担は大きいですが、少額ではあるが黒字化を達成した。
- ② 産業メンタルヘルスセンター
概況：労働安全衛生法改定等の影響があり、社員のメンタルヘルス向上に関心を示す企業からの問い合わせが増加しており、日本うつ病センターの基本的な考え方であるより良い産業保健・医療を提供するという考え方に賛同頂ける数社との協業を開始し、収益事業全体の黒字化に貢献した。

一般社団法人日本うつ病センター

貸借対照表

(2017年12月31日現在)

(単位:千円)

| | | | |
|-------------|---------------|--------------|----------------|
| 資産の部 | | 負債の部 | |
| 流動資産 | | 流動負債 | |
| 現金及び預金 | 30,716 | 買掛金 | 24 |
| 売掛金 | 7,796 | 未払金 | 3,091 |
| 棚卸資産 | 68 | 未払法人税等 | 70 |
| 前渡金 | 810 | 未払消費税等 | 1,165 |
| 立替金 | 16 | 未払費用 | 1,425 |
| 未収入金 | 12 | 前受金 | 7,564 |
| その他流動資産 | 121 | 預り金 | 619 |
| 流動資産計 | <u>39,540</u> | 前受収益 | 1,350 |
| | | 流動負債計 | <u>15,307</u> |
| | | 固定負債 | |
| 固定資産 | | 長期借入金 | 41,788 |
| 有形固定資産 | | 長期未払金 | 3,645 |
| 建物 | 6,885 | 固定負債計 | <u>45,433</u> |
| 工具器具備品 | 1,766 | 負債合計 | <u>60,740</u> |
| 有形固定資産計 | <u>8,651</u> | | |
| | | 純資産の部 | |
| 投資その他の資産 | | 純資産 | |
| 出資金 | 10 | 利益剰余金 | |
| 敷金・保証金 | 5,550 | その他利益剰余金 | |
| 長期前払費用 | 1,104 | 繰越利益剰余金 | △ 15,253 |
| 投資その他の資産計 | <u>6,664</u> | 当期純損益金額 | 9,369 |
| 固定資産計 | <u>15,316</u> | 利益剰余金 合計 | <u>△ 5,885</u> |
| | | 純資産合計 | <u>△ 5,885</u> |
| 資産合計 | <u>54,855</u> | 負債・純資産合計 | <u>54,855</u> |

一般社団法人日本うつ病センター

損益計算書

自 2017年 1月 1日
至 2017年12月31日

(単位:千円)

| | | |
|------------|--------------|---------------------|
| 売上高 | | 99,290 |
| 期首商品棚卸高 | 24 | |
| 当期商品仕入高 | <u>2,398</u> | |
| 合計 | 2,421 | |
| 期末商品棚卸高 | <u>63</u> | |
| 売上原価 | | <u>2,359</u> |
| 売上総利益 | | 96,931 |
| 販売費及び一般管理費 | | <u>85,476</u> |
| 営業利益 | | 11,455 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | |
| 受取配当金 | 0 | |
| その他の営業外収益 | <u>418</u> | 418 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,729 | |
| その他の営業外費用 | <u>705</u> | <u>2,435</u> |
| 経常利益 | | 9,439 |
| 税引前当期純利益 | | <u>9,439</u> |
| 住民税 | | 70 |
| 当期純利益 | | <u><u>9,369</u></u> |

一般社団法人日本うつ病センター

附属明細書

自 2017年 1月 1日
至 2017年12月31日

1. 重要な固定資産の明細

(単位：千円)

| 区 分 | 期首帳簿価額 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期償却額 | 期末帳簿価額 | 減価償却累計額 | 期末取得原価 |
|--------|--------|-------|-------|-------|--------|---------|--------|
| 有形固定資産 | | | | | | | |
| 建物 | 10,190 | - | - | 3,305 | 6,885 | 10,550 | 17,435 |
| 工具器具備品 | 2,610 | - | - | 844 | 1,766 | 3,199 | 4,965 |
| 合 計 | 12,800 | - | - | 4,149 | 8,651 | 13,749 | 22,400 |

財 産 目 録

2017年 12月 31日

一般社団法人日本うつ病センター

(単位:千円)

| 科 目 | 金 額 | | |
|-------------|---------------|---------------|---------------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金・預金 | 30,716 | | |
| 売掛金 | 7,796 | | |
| 棚卸資産 | 68 | | |
| 前渡金 | 810 | | |
| 未収入金 | 16 | | |
| 立替金 | 0 | | |
| その他流動資産 | 121 | | |
| 流動資産 合計 | | <u>39,527</u> | |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 特定資産 | | | |
| 建物 | 6,885 | | |
| 工具器具備品 | 1,766 | | |
| 敷金 | 5,550 | | |
| 特定資産 合計 | <u>14,201</u> | | |
| (2) その他固定資産 | | | |
| 出資金 | 10 | | |
| 長期前払費用 | 1,104 | | |
| その他固定資産 合計 | <u>1,114</u> | | |
| 固定資産 合計 | | <u>15,315</u> | |
| 資 産 合 計 | | | <u>54,842</u> |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 買掛金 | 24 | | |
| 短期借入金 | 0 | | |
| 未払金 | 3,091 | | |
| 未払法人税等 | 70 | | |
| 未払消費税等 | 1,165 | | |
| 未払費用 | 1,425 | | |
| 前受収益 | 1,350 | | |
| 預り金 | 619 | | |
| 流動負債 合計 | | <u>7,744</u> | |
| 2. 固定負債 | | | |
| 長期借入金 | 41,788 | | |
| 長期未払金 | 3,645 | | |
| 固定負債 合計 | | <u>45,433</u> | |
| 負 債 合 計 | | | <u>53,177</u> |
| 正 味 財 産 | | | <u>1,665</u> |

監査報告書

2018年3月10日

一般社団法人日本うつ病センター

監事 大坪 天平

監事 渡邊 衝一郎

2017年1月1日から2017年12月31日までの事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で調査を行い、その結果を監事間で協議して監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するための必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上



平成30年度（2018年度）事業報告書

（平成30年1月1日～平成30年12月31日）
一般社団法人日本うつ病センター

活動の指針

平成30年度も例年に引き続き定款に記載した法人設立目的である「うつ病及びその関連疾患（以下、「うつ病等」という）の予防、診断、治療のクオリティを高めるための対策、研究、又うつ病等に関わるものと連携して、普及啓発、医療の向上を図り、もって国民の福祉と健康増進を目的とする」を達成するために、啓発・研究事業に力点をのこした活動を行った。

啓発・研究事業においては産業医と精神科医の継続的な関係が可能となるシステムの開発を目指して、産業医と精神科医の役割分担がより一層明確になるような調査研究事業に着手した。産業メンタルヘルスの領域においては働く人々に現在の精神科医療が与えている影響を再度考え直すために、健康保険組合等と連携し治療実態を明らかにすべくレセプトデータの分析を各方面の専門家と協働しながら分析を開始した。

継続的に行っている「うつをこえて」の一般市民啓発活動や自殺防止対策事業などについてはより一層の拡大を行った。昨年度より、新に受託した東京都地域自殺対策強化事業は一応の評価を得て、引き続き採択を受け、若年勤労者の自殺対策について啓蒙活動を行った。

収益事業については、実際の医療を提供する六番町メンタルクリニックについては可能なかぎりじっくり患者様の声に耳を傾け診療することを継続し、産業メンタルヘルスセンターにおいても六番町メンタルクリニック、JDC 精神療法センターと連携し、精神科医による統合支援体制を継続した。

1. 啓発・研究活動

(ア) 「うつ病を知る日」市民講座：2地区

開催地：岡山県岡山市（10月6日：200名）、北海道札幌市（10月13日：150名）

(イ) ワンストップ支援のための情報プラットフォームづくり（独自事業、大塚先生）

開催地：9地区（参加者数700名）、全体連絡会議1回

2018年版冊子作成5000部配布、全国各地地方紙（共同通信配信）に掲載

(ウ) 若年勤労者の自殺対策（東京都補助事業）

開催：小講演会1回、（参加者数25名）

（なお、平31年2月に小講演会2回参加者数60名、講演会1回参加者数120名実施済み）

(エ) 向精神薬適正使用推進事業

① 適正使用推進基金集め進まず延期中

2. 両事業共通

(ア) システム

① 遠隔診療システム→Ver1完成

② E-learningシステム→実装、東京都自殺対策事業で使用

(イ) 研究会

① メンタルヘルス研究会（土健保協働）2回開催

パイロット分析の結果発表（1年間データ）

現在3年間のデータクレンジング中



3. . 収益事業

① 六番町メンタルクリニック及び精神療法センター

概況：開院以降患者数は着実に増加しており、初期投資の負担及び家賃等の固定費の負担は大きいですが、少額ではあるが黒字化を達成した。

② 産業メンタルヘルスセンター

概況：労働安全衛生法改定等の影響があり、社員のメンタルヘルス向上に関心を示す企業からの問い合わせが増加しており、日本うつ病センターの基本的な考え方であるより良い産業保健・医療を提供するという考え方に賛同頂ける数社との協業を開始し、収益事業全体の黒字化に貢献した。

一般社団法人日本うつ病センター

貸借対照表

(平成30年12月31日現在)

(単位:円)

| | | | |
|---------------------|-------------------|------------------|-------------------|
| <u>資産の部</u> | | <u>負債の部</u> | |
| <u>流動資産</u> | | <u>流動負債</u> | |
| 現金及び預金 | 15,079,646 | 買掛金 | 48,209 |
| 売掛金 | 9,858,396 | 短期借入金 | 11,633,330 |
| 棚卸資産 | 125,493 | 未払金 | 3,825,847 |
| 前渡金 | 810,000 | 未払法人税等 | 70,000 |
| 未収入金 | 590,016 | 未払消費税等 | 1,400,400 |
| 立替金 | 31,293 | 未払費用 | 1,496,615 |
| その他流動資産 | 203,160 | 預り金 | 419,049 |
| | | 前受収益 | 1,350,000 |
| 流動資産計 | <u>26,698,004</u> | 流動負債計 | <u>20,243,450</u> |
| <u>固定資産</u> | | <u>固定負債</u> | |
| 有形固定資産 | | 長期借入金 | 15,583,318 |
| 建物 | 3,868,807 | 長期未払金 | 763,300 |
| 工具器具備品 | 1,175,279 | 固定負債計 | <u>16,346,618</u> |
| 有形固定資産計 | <u>5,044,086</u> | 負債合計 | <u>36,590,068</u> |
| <u>投資その他の資産</u> | | <u>純資産の部</u> | |
| 出資金 | 10,000 | <u>純資産</u> | |
| 敷金・保証金 | 5,550,000 | 利益剰余金 | |
| 長期前払費用 | 533,027 | その他利益剰余金 | |
| 投資その他の資産計 | <u>6,093,027</u> | 繰越利益剰余金 | △ 5,884,683 |
| 固定資産計 | 11,137,113 | 当期純損益金額 | 7,129,732 |
| | | 利益剰余金 合計 | <u>1,245,049</u> |
| 資産合計 | <u>37,835,117</u> | 純資産合計 | <u>1,245,049</u> |
| | | 負債・純資産合計 | <u>37,835,117</u> |

一般社団法人日本うつ病センター

損益計算書

自 平成30年 1月 1日
至 平成30年12月31日

(単位:円)

| | | |
|------------|------------------|-------------------------|
| 売上高 | | 117,608,617 |
| 期首商品棚卸高 | 62,720 | |
| 当期商品仕入高 | <u>3,269,976</u> | |
| 合計 | 3,332,696 | |
| 他勘定振替高 | 1,296 | |
| 期末商品棚卸高 | <u>108,379</u> | |
| 売上原価 | | <u>3,223,021</u> |
| 売上総利益 | | 114,385,596 |
| 販売費及び一般管理費 | | <u>104,820,989</u> |
| 営業利益 | | 9,564,607 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 221 | |
| 受取配当金 | 200 | |
| その他の営業外収益 | <u>83,451</u> | 83,872 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,228,104 | |
| その他の営業外費用 | <u>1,220,579</u> | 2,448,683 |
| 経常利益 | | <u>7,199,796</u> |
| 税引前当期純利益 | | <u>7,199,796</u> |
| 住民税 | | 70,064 |
| 当期純利益 | | <u><u>7,129,732</u></u> |

一般社団法人日本うつ病センター

附属明細書

自 2018年 1月 1日
至 2018年12月31日

1. 重要な固定資産の明細

(単位：千円)

| 区 分 | 期首帳簿価額 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期償却額 | 期末帳簿価額 | 減価償却累計額 | 期末取得原価 |
|--------|--------|-------|-------|-------|--------|---------|--------|
| 有形固定資産 | | | | | | | |
| 建物 | 6,885 | - | - | 3,016 | 3,869 | 13,566 | 17,435 |
| 工具器具備品 | 1,766 | - | - | 591 | 1,175 | 3,790 | 4,965 |
| 合 計 | 8,651 | - | - | 3,607 | 5,044 | 17,356 | 22,400 |

財 産 目 録

2018年 12月 31日

一般社団法人日本うつ病センター

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | | |
|-------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金・預金 | 15,079,646 | | |
| 売掛金 | 9,858,396 | | |
| 棚卸資産 | 125,493 | | |
| 前渡金 | 810,000 | | |
| 未収入金 | 590,016 | | |
| 立替金 | 31,293 | | |
| その他流動資産 | 203,160 | | |
| 流動資産 合計 | | <u>26,698,004</u> | |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 特定資産 | | | |
| 建物 | 3,868,807 | | |
| 工具器具備品 | 1,175,279 | | |
| 敷金 | 5,550,000 | | |
| 特定資産 合計 | <u>10,594,086</u> | | |
| (2) その他固定資産 | | | |
| 出資金 | 10,000 | | |
| 長期前払費用 | 533,027 | | |
| その他固定資産 合計 | <u>543,027</u> | | |
| 固定資産 合計 | | <u>11,137,113</u> | |
| 資産 合計 | | | <u>37,835,117</u> |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 買掛金 | 48,209 | | |
| 短期借入金 | 11,633,330 | | |
| 未払金 | 3,825,847 | | |
| 未払法人税等 | 70,000 | | |
| 未払消費税等 | 1,400,400 | | |
| 未払費用 | 1,496,615 | | |
| 前受収益 | 1,350,000 | | |
| 預り金 | 419,049 | | |
| 流動負債 合計 | | <u>20,243,450</u> | |
| 2. 固定負債 | | | |
| 長期借入金 | 15,583,318 | | |
| 長期未払金 | 763,300 | | |
| 固定負債 合計 | | <u>16,346,618</u> | |
| 負債 合計 | | | <u>36,590,068</u> |
| 正味財産 | | | <u>1,245,049</u> |

監査報告書

2019年2月23日

一般社団法人日本うつ病センター

監事 大坪 天平

監事 渡邊 衝一郎

2018年1月1日から2018年12月31日までの事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で調査を行い、その結果を監事間で協議して監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するための必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上